

大学コンソーシアム岡山 第29回運営委員会 議事要旨

1. 日 時 平成25年9月3日(火) 15時00分～17時00分
2. 場 所 岡山理科大学 9号館3階大会議室
3. 出席者 17人/27人(その他、代理、随員及び陪席者数 7人) 末頁のとおり

【議 事】

会議に先立ち、堂田運営委員長(岡山理科大学 工学部教授)から挨拶があり、出席者全員の自己紹介が行われた。次に平成25年2月22日開催の第28回運営委員会議事要旨の確認が行われ、内容について修正等あれば大学コンソーシアム岡山事務局(以下「事務局」と称する)へ連絡することです承された。

山岡氏(岡山県警察県民応接課)から別紙に基づき、「岡山県犯罪被害者等支援」について警察が行っている犯罪被害者支援施策等の案内と学生ボランティアにおける広報等の依頼があった。

横田委員(岡山県県民生活交通課長)から別紙に基づき、「ももたろう未来塾公開講座」の参加について案内と広報の依頼があった。

荒木氏(岡山大学 社会貢献・国際担当理事)から、岡山大学の「平成25年度文部科学省のCOC地(知)の拠点整備事業」申請について、大学コンソーシアム岡山への協力依頼におけるお礼と不採択について報告がなされた。

【審議事項】

1. 障がい学生支援委員会の規程類について

堂田運営委員長から資料1に基づき、規程案について説明があり原案どおり承認された。

2. 平成26年度事業計画案について

堂田運営委員長から資料2に基づき、本計画案は最終案ではないとの説明の後審議がなされ、新規なしで継続のみの事業計画案が承認された。

木村事務局顧問(事務局非常勤顧問)から資料2に基づき、次の説明がなされた。

- ・資料2-1「平成26年度事業計画案」について、来年度会長校が交代するため今年度の事業内容を来年度も継続することで第50回企画会議にて承認されている。
- ・資料2-2「大学教育事業部 平成26年度事業計画(案)」について、単位互換委員会と対面・遠隔講義委員会を統合するために「単位互換教育委員会(仮称)」を来年度設置することが検討されている。

大槻社会人教育委員長（川崎医科大学 副学長補佐）から資料2-4に基づき、「社会人教育事業部 平成26年度事業計画（案）『吉備創生カレッジ』の講座企画・運営」について次の主な変更点について説明がなされた。

- ・「1. 理念」の内容を変更した。
- ・「3. 講座運営 3-1 吉備創生カレッジ（6）100単位以上取得者からは翌期に限り受講料を半額に減免する。」という項目を追加した。

木村事務局顧問から資料2-6に基づき、「産学官連携事業部 平成26年度事業計画（案）」について、来年度は新規にボランティア活動支援に係る費用として5万円を計上する旨の説明がなされた。

鈴木委員（ノートルダム清心女子大学 事務部長）より、次の質問があった。

- ・資料2-2、資料2-3について、「2. 障がい学生支援」と「3. 大学間での情報共有事業」に関して平成26年度は予算を計上する必要があるのではないか。これに対して、木村事務局顧問から、SD講演会に関しては、社会人教育事業部との共催により社会人教育委員会の予算で賄う予定であるため、予算計上していない旨の回答がなされた。
- ・資料2-2について、「1（3）単位互換教育に関する予算」には、VOD講師謝金が必要ではないか。これに対して、木村事務局顧問から、現在の概算を明記しているが来年度予算に計上する必要がある旨の回答がなされた。

3. 大学コンソーシアム岡山会長校について

堂田運営委員長から資料3に基づき、次の説明があり了承された。

- ・第50回企画会議で審議された会長校について、次期会長校が岡山理科大学からノートルダム清心女子大学に移る案が承認された。また、次年度の運営委員長候補である加藤先生が今年度9月から運営副委員長に就任することの確認がなされ了承された。
- ・事務局はノートルダム清心女子大学（次期会長校）の管轄となるが、あと2年継続して岡山理科大学に置く可能性があることも説明され確認された。また、事務局を固定化することが提案され、岡山県または岡山大学などに事務局を設置することをご検討いただきたい。

4. 単位互換委員会と対面・遠隔講義委員会の統合について

堂田運営委員長から資料4に基づき、「単位互換教育委員会（仮称）」は今年度中に開催する2つの合同委員会にて検討し、委員会名称は変更になる可能性を含めて代表者会議に諮ることで内規案とともに承認された。

木村事務局顧問より、統合案の提案理由について次の補足説明がなされた。教育を共有することにおいて各委員会で成果を上げているが、議案が重複することが多いため1つの委員会で運営していくことを検討している。各大学から委員2名を選出いただきたい。

5. 双方向ライブ型遠隔授業の新設について

木村事務局顧問から資料5に基づき、テレビ会議システムを使用して大学コンソーシアム岡山特有のオムニバス形式の新規科目を配信することに関して各大学の意見を聞いている段階で継続審議中である旨の説明と協力依頼があり、原案どおり了解された。

6. 第16回代表者会議の議題について

堂田運営委員長から資料6に基づき、議題の説明がなされ原案通り承認された。

【報告事項】

1. 平成25年度各種委員会委員（委員名簿）について

堂田運営委員長から資料7に基づき、各種委員会委員について報告が行われ、内容について修正等あれば事務局へ連絡することです承された。

2. 平成24年度収支決算報告（会計監査）について

堂田運営委員長から資料8に基づき、吉備国際大学 松本監事と川崎医科大学 福永監事の2名による厳正な会計監査が行われた旨の報告があり、原案通り了承された。

3. 各事業部委員会実施報告について

（1）大学教育事業部

三宅氏（岡山大学 学務部学務企画課主査）から資料9-1に基づき、「①平成25年度前期 単位互換授業履修受入れ状況」について、対面授業及びライブ型・VOD型遠隔授業の提供科目と履修者数の報告がなされた。

木村事務局顧問（事務局非常勤顧問）から資料9-2に基づき、「②平成25年度SD講座『障がい学生支援研修会』」について次の報告があった。

- ・大学コンソーシアム岡山「障がい学生支援委員会」が平成25年度に設置された。
- ・平成25年8月26日に社会人教育委員会との共催で「障がい学生支援研修会」実施され、障がいのある学生に関する講演と県下高等学校と大学等からの参加者による情報共有が行われた。

三宅氏から資料9-3-2、資料9-3-3に基づき、「③単位互換委員会、対面・遠隔講義委員会」について、検討を要する事項に関する協議が行われた結果を取り纏めた旨の報告がなされた。

木村事務局顧問から資料9-3-3、資料9-3-4に基づき、検討を要する事項に関する協議が行われ、「単位互換委員会と対面・遠隔講義委員会の統合」と「双方向ライブ型遠隔授業の新設」については、本日の委員会の審議事項となっている旨の報告がなされた。

(2) 社会人教育事業部

大槻社会人教育委員長から資料10に基づき、「①平成25年度前期吉備創生カレッジ実施状況」、「②平成25年度後期開講科目」について次の報告があった。

- ・平成25年8月24日に山陽新聞社で吉備創生カレッジ単位認定式が行われ、累積100単位(600コマ)修得された方などを表彰した。
- ・社会人教育委員会で審議中のVOD型によるインターネット配信授業については、現在検討が保留となっている。
- ・山陽新聞社としては、新規受講者が減少しているため新規登録者の獲得に向けて対策を検討する。

(3) 産学官連携事業部

渋谷地域貢献委員長(山陽学園大学 総合人間学部教授)から資料11-1、資料11-2に基づき、「①『平成25年度日ようび子ども大学』開催」、「②『平成25年度エコナイト』開催」について、学生、教職員、関係者の協力により盛況に開催できた旨の報告があった。

堂田運営委員長から資料11-3に基づき、「③平成25年度東日本大震災復興支援ボランティア」について、来年度以降も継続するよう経済同友会に依頼している旨の報告があった。

黒住委員(岡山経済同友会 教育問題副委員長)から、次の報告があった。

- ・本活動が3年目であったが、AMDAの調整により復興が遅れている石巻市雄勝町等の復興支援活動に参加する機会をもつことができた。
- ・ボランティアに参加した学生と被災者の方々が交流し、貴重な経験ができた。
- ・本活動を来年度も実施することについては、岡山経済同友会の会議で検討していきたい。

木村事務局顧問から資料11-4-1に基づき、「④『インターンシップ』事業」について、岡山県中小企業団体中央会の協力により昨年度に比べ参加企業や参加学生が増え、インターンシップ活動が有効的に行われた旨の報告があった。

4. 出張報告について

堂田運営委員長から資料12-5に基づき、「①平成25年度東日本大震災復興支援ボランティア」について、学生にとって本活動を通して勉強や刺激になった旨の報告があった。

5. 平成25年度予算執行状況について

大学コンソーシアム岡山事務局から資料13に基づき、今年度の予算執行は順調である旨の報告があった。

6. FD講演会の開催について

木村非常勤顧問から資料14に基づき、平成25年11月2日(土)に岡山理科大学と大学コンソ

ーシウム岡山が共催してFD講演会を開催する旨の報告があった。

7. マルセンスポーツ・文化振興財回助成金の通知について
堂田運営委員長から不採択結果の報告がなされた。

以 上